

令和4年度 ユニバーサル社会づくりの推進

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ユニバーサル社会づくりの推進

1 ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例

年齢、性別、障害の有無、言語、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる社会（平成30年4月施行）

2 ユニバーサル社会づくり総合指針

条例の基本理念実現のため指針を改訂（平成30年10月）
指針に基づき取組を推進

●推進体制

- ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議（平成17年8月設立）
- 会長：兵庫県知事 副会長：兵庫県社会福祉協議会会長
- 構成団体：62団体
- 会員：477会員(279団体・企業、個人198名)



ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針 五つの基本理念

ひと

人と人が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合う社会

参加

全ての人がその能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会

情報

生活に必要な情報を円滑に取得し、利用する多様な手段が確保され、自らが望む意思疎通の手段を選択することができる社会

まち

福祉のまちづくりの推進により、安全で安心な暮らしが確保される社会

もの

全ての人にとって利用しやすく、質の高い製品及びサービスが普及する社会

令和4年度の主な取組

人と人が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合う社会

ひと

54事業

1,398,215
(千円)

1 基本理念に対する理解を深める機会の提供

- ユニバーサル社会づくり情報の発信
- ユニバーサル社会づくり顕彰事業 (R4 : 3 個人、6 団体、1 企業を表彰)
- 配慮が必要な方に関するマークの普及啓発 (ヘルプマーク、～R3 : 60,924個)
- (新)人権相談充実強化事業(多様化する人権問題に対応するため、法的手続きに関する専門相談体制等を整備)

2 家庭、地縁団体等と連携した障害児への生きる力を育むための教育の実施

- (新)医療的ケア児支援センターの設置
(医療的ケア児の家族等からのワンストップ相談対応、研修会・家族交流会の開催等)
- (新)心のバリアフリー推進事業
(特別支援学校児童生徒の自立と社会参加に向け、地域社会の一員として生きる力を育むため、地元行事、清掃ボランティアでの交流やキャンプなどの自然体験活動を実施)

3 ユニバーサル社会づくりに資する人材の養成

- みんなの声かけ運動の推進・充実強化 ([推進員数]～R3 : 4,972名 [応援協定締結]～R4 : 231団体)
(幼稚園・小中学校への出前講座開催など運動の展開)
- (新)聴覚障害児支援力向上研修の実施 (療育機関や学校現場等における聴覚障害児支援の質向上や多職種連携を学ぶ研修の実施)
- (拡)認知症への社会の理解を深めるキャンペーンの実施
(認知症の人本人やその家族が、安心して集える居場所や活躍できる場の充実を図るとともに、オンラインも含めた様々な手段により、必要な情報を得て、孤立や介護離職等に追い込まれることがないよう取組を強化)

3

すべての人に
健康と福祉を



4

質の高い教育を
みんなに



10

人や国の不平等
をなくそう



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



令和4年度の主な取組

全ての人がある能力を発揮して、多様な社会参加できる社会

参加

96事業
4,178,205
(千円)

1

貧困をなくそう



8

働きがいも経済成長も



10

人や国の不平等をなくそう



1 高齢者、女性、障害者が多様な勤務形態を選択できる環境の整備

- (拡)障害者の工賃向上等支援
- (新)特別支援保育加配事業
(発達障害児等を1名受け入れる私立認定こども園、職員の加配に必要な経費を県独自で支援)
- (新)商店街若者・女性新規出店チャレンジ応援
(商店街団体に加盟し、商店街活動に積極的に参加する若者や女性の空き店舗への新規出店を支援)

2 地域社会全体で高齢者、女性等の社会参加を促進する体制の整備

- (新)高齢者の補聴器活用調査の実施
(国への制度提案の一助とするため、補聴器装用のニーズ、高齢者の社会参加活動の状況等を調査)
- (新)課題を抱える妊産婦支援プロジェクト
(予期せぬ妊娠等による出産から自立まで孤立しない支援や、その後の自立生活や自己実現を応援する先駆的な取組を実施)

3 障害者等が生活を営む上で障壁となるものを除去するための支援の体制の整備

- 障害者の明るいくらし促進事業(身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を育成、貸与(R3:3頭))
- (新)ヤングケアラー・若者ケアラー支援体制の構築推進事業
(相談窓口の設置、支援グループの活動支援、ケアラー支援体制を強化するための福祉・教育職等への研修の実施、配食サービスの実施)
- (拡)DV被害者等セーフティネット強化支援パイロット事業
(DV被害者の自立に向けたきめ細かい支援のため、民間シェルターの基盤や対応を強化)

4 文化芸術活動、スポーツ等を通じた、様々な人との交流の促進

- (新)兵庫車いすロードレース(仮称)の開催(車いす走行会とパラスポーツ体験会の実施)
- パラスポーツ拡大推進プロジェクトの展開
(国際大会等で活躍できるパラアスリートの育成や障害の有無に関わらず、ともに楽しむことができるスポーツの普及拡大)
- (拡)障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト
(「兵庫県障害者アートギャラリー」特別展「大きな作品展」の開催、作品展示・発表会の開催支援、観劇機会の拡大支援)
- (新)ユニバーサルツーリズム推進事業

令和4年度の主な取組

生活に必要な情報を円滑に取得し、利用する多様な手段が確保され、自らが望む意思疎通の手段を選択することができる社会

情報

23事業
581,728
(千円)

1 手話、点字等の多様な方法により、全ての人が情報を円滑に取得できる措置

- 県主催イベントにおける情報配慮支援事業
- 県・県議会広報のユニバーサル化
(県広報番組での字幕・手話画面、知事記者会見や県議会本会議での手話画面、点字広報誌等の発行)
- ひょうご多文化共生総合相談センターの運営 (相談員や外部通訳等により11言語に対応)

2 手話通訳等を行う人材の養成及び手話等を学習する機会の確保

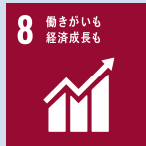
- 視覚障害者等のICT指導者養成研修事業 (視覚・聴覚・盲ろう者向け)
- 失語症者向け意思疎通支援者養成事業
- 手話普及促進事業(若者向け、一般県民向け、専門職向け等、対象者別の各種手話講座を実施)

3 災害時に必要な情報を迅速かつ的確に伝達する体制の整備

- (新)外国人県民安全・安心基盤整備
(災害時・緊急時等に、情報を翻訳し、外国人相談窓口にて提供。外国人県民への防災意識啓発を実施)
- (拡)避難行動要支援者のための個別避難計画の作成等強化
(市町が中心となって避難行動要支援者の個別避難計画を作成、自主防災組織等避難支援者の人材育成事業を実施)

4 情報通信技術の活用やその進展による利便性を全ての人が享受できる環境の整備

- 遠隔手話サービスを利用した聴覚障害者の意思疎通支援体制の強化
- (新)障害者のデジタルデバイス解消事業
(障害者に対するIT相談窓口の設置・IT機器の利用が困難な障害者に対して、操作手法等の講座を開催)
- (新)デジタルデバイス解消プロジェクトの展開
(高齢者等を対象に県・市町・携帯キャリアが連携し、スマホ基本操作・行政サービスの利用講習会を実施・地域での相談人材の養成)



令和4年度の主な取組

福祉のまちづくりの推進により、安全で安心な暮らしが確保される社会

まち

31事業

13,141,612
(千円)

1 利用の状況の変化に対応した構造又は設備を有する住宅の整備促進

○ユニバーサルデザインを導入した県営住宅の建替

2 公共の施設・交通機関におけるスロープ等の設備設置や施設の整備促進

○兵庫ゆずりあい駐車場の普及促進（～R3:駐車場登録1,887施設 4,870区画利用交付数48,050件）

○鉄道駅舎エレベーター等の設置促進（～R3:136駅設置済 R4:5駅設置予定）

○鉄道駅舎ホームドア設置促進事業（～R3:5駅設置済 R4:3駅設置予定）

○ノンステップバス車両の導入促進（～R3:554台導入済 R4:34台導入予定）

○(新)ホテル・旅館バリアフリー改修促進事業

（既存ホテル等がバリアフリー改修工事を行う際に、福祉のまちづくり条例に定める基準と同等以上の整備を行うための設計費や工事費を支援）

3 利用者等の意見を尊重した公共施設等の整備や運営体制の整備

○ユニバーサル社会づくり推進地区整備事業（～R3：36地区）

（ユニバーサル社会づくり推進地区の指定など、まちづくりをソフト・ハード両面から支援）

○県民の参画と協働による施設整備・管理運営の推進（[チェック&アドバイス]～R3：148件）

（公共施設や商業施設、障害者が働く空間のチェック&アドバイスを実施）

4 住み慣れた地域で安心して暮らすためのサービス提供の促進

○障害者グループホーム等の利用に係る低所得者への県単独負担軽減

○(拡)介護業務における労働環境改善・生産性向上の支援（ロボットの専門知識の有する者の養成支援）

10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



令和4年度の主な取組

全ての人にとって利用しやすく、質の高い製品及びサービスが普及する社会

もの

7事業
195,969
(千円)

3

すべての人に
健康と福祉を



10

人や国の不平等
をなくそう



12

つくる責任
つかう責任



1 全ての人にとって利用しやすいよう設計された日用品等の研究開発の促進

○福祉機器展示3施設連携事業

(県内福祉機器展示3施設(福祉のまちづくり研究所、但馬長寿の郷、西播磨総合リハビリテーションセンター)での、ロボット展示の充実強化、最先端機器開発企業と連携した特別展示セミナーの開催)

2 先端的な技術を活用した医療又は介護の提供のための研究開発の促進

○ロボットリハビリテーション拠点化推進事業

(現場ニーズに即した研究開発・商品化)

○小児筋電義手バンクの運営支援

(筋電義手(筋肉が収縮する時に生じる微量の筋電位を利用して本人の意思で指を動かせる電動の義手)の訓練が必要な子供へ無償貸与)

3 全ての人にとって利用しやすいよう配慮されたサービス提供の促進

○「ユニバーサル社会づくり第7次兵庫県率先行動計画」の推進

(質の高い県民サービスを行う「ユニバーサル県庁」を目指し、「ユニバーサル県庁ガイドブック」の配布、「コミュニケーション支援ボード」の全所属窓口への設置等、庁内各所属で計画に基づき取組を推進)

